

カンガルーケア

<カンガルーケアとは>

カンガルーがお腹の袋に赤ちゃんを入れて育てることと同様に、保育器が不足した時代に、小さな赤ちゃんをママのお腹の上で保育したことが始まりとされています。現代では、赤ちゃんとお母さん・お父さんの肌が直接触れあうように胸の間に裸の赤ちゃんを包み込むように抱っこします。



<カンガルーケアの効果>

- * 赤ちゃんの呼吸が安定し、規則的になる
- * 赤ちゃんの眠りが深くなり、起きているときも穏やかになる
- * ご両親の常在菌が移行し、赤ちゃんの感染症の危険が減少する
- * 母乳分泌が増加し母乳育児がすすむ

など、さまざまな効果が見られています。

<カンガルーケアを始める時期>

赤ちゃんの集中治療が終わり、呼吸も安定した時期を目標とします。32～34 週頃が良いとされています。状態が安定していれば、32 週以前の赤ちゃんにも行うことができます。

<カンガルーケアの方法>

1. カンガルーチェアという専用の椅子へゆったりと腰をかけます。
2. お母さんはブラジャーなどの下着を外し、お父さんは前を開けて肌と肌が触れあえるように準備をします。
3. 看護師は保育器からオムツ 1 枚の赤ちゃんをタオルで包みながら、お母さんまたはお父さんに近づけ、胸と胸の間に赤ちゃんを縦抱き（うつぶせになるように）の状態ですっきりとくっつけます。
4. 呼吸や心拍数の観察をするためにモニターを付けます。

5. 姿勢を微調整し、赤ちゃんが落ち着いたところでバスタオルを掛け赤ちゃんを覆い、看護師は離れます。
6. カンガルーケアは1時間以上行うことで効果が見られるので、お母さんお父さんは赤ちゃんの顔を鏡で見たり、一緒にお休みになったり自由にリラックスしながら過ごしてください。



＜カンガルーケアが出来る時間＞
15時～16時ぐらい

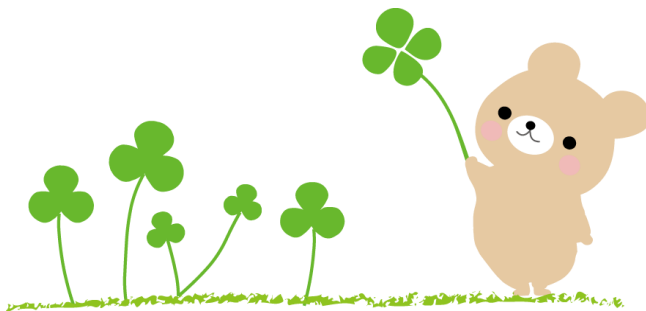
＜赤ちゃんからのお願い＞

- * 香水やオーデコロンはあまり好きではありません
- * ネックレスは当たると痛いので外して下さい
- * 面会前のたばこは控えめにお願いします
- * できるだけ清潔にしてください



＜その他＞

カンガルーチェアに限りがあるので、状況により使用できないこともあります。また、急性期病棟ですので病棟の状況によっては、カンガルーケアが行えないこともありますのでご了承下さい。



藤沢市民病院 N I U C病棟